

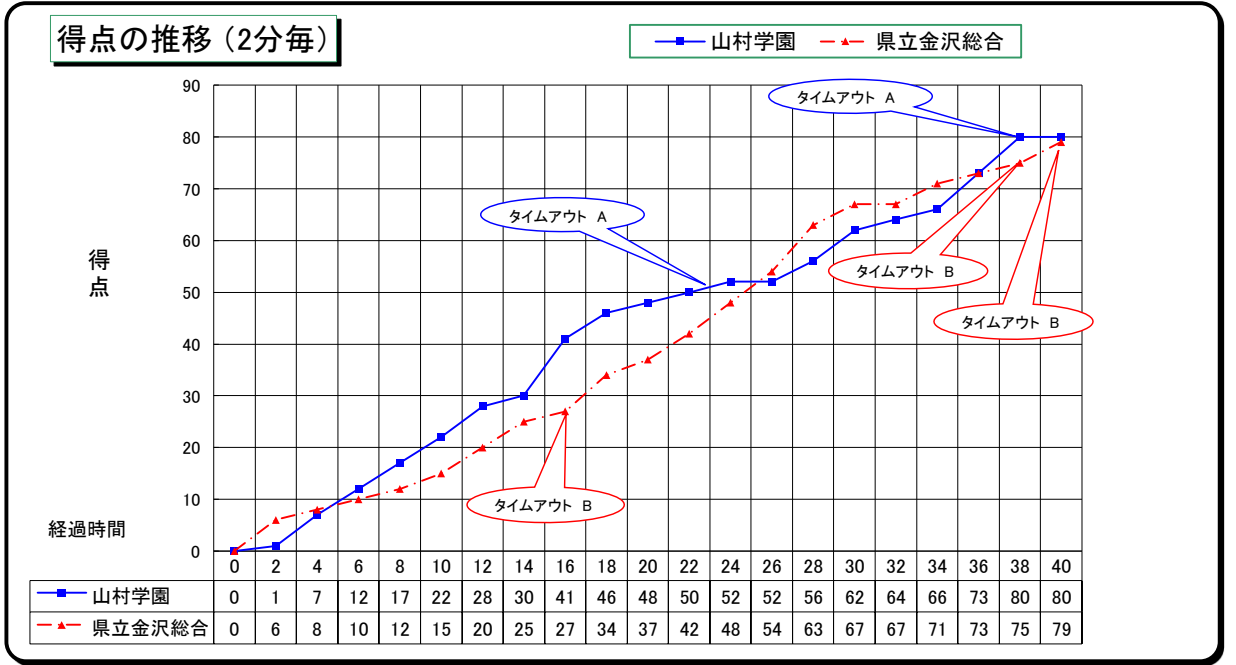
平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会
【女子】＜2回戦＞

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Dコート	第5試合 15:00～
<チームA> 山村学園 埼玉		80 { 22 1Q 15 26 2Q 22 14 3Q 30 18 4Q 12 } 79		<チームB> 県立金沢総合 神奈川
主審: 小島 基浩(茨)		副審: 佐藤 賢佑(茨)		

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	増岡加奈子	29	1	9	8	3
◎	5	上原もなみ	10		4	2	2
◎	6	落合 里夏	18	2	4	4	2
◎	7	鶴田 梨乃	6		2	2	4
◎	8	伊東 澄	9	1	3		3
	9	佐藤 朱莉					
	10	太田 絢奈					
	11	土屋 早織					
	12	脇川 沙貴					
	13	眞渡 未来					
○	14	内田 彩織	8		4		2
	15	佐藤 楠探					
	16	坂本 共江					
	17	岡澤 怜奈					
	18	高橋 怜奈					
コーチ 下田 宏吉							
合計			80	4	26	16	16

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	荒木 千広	14		4	6	4
◎	5	遠藤まなみ	15	1	5	2	3
◎	6	五十嵐律美	4		1	2	2
◎	7	稲井 桃子	15	1	4	4	2
◎	8	星澤 真	12		6		4
○	9	青木 美優	2			2	4
	10	清田 瑞帆					
	11	土師 恵美					
	12	金指セイディー					
○	13	吉成 文	14	4	1		
	14	大沼明日郁					
	15	八木澤里奈					
○	16	三上 夏侑	3	1			1
	17	大槻 美咲					
	18	今泉真奈美					
コーチ 清水 麻衣							
合計			79	7	21	16	20

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦 評	記入者: 張 辰哉
第1P, ディフェンスは両チーム共にハーフコートマンツーマンでゲームスタート。関東大会ベスト4をかけ、激しいディフェンスを展開するが、互いにシュートファウルが増えていく。金沢総合が手堅くフリースローを決めるのに対し、山村学園はバスケットカウントで力強くねじ込み、徐々に点差を広げていく。山村学園の縦への突破を食い止めたいが、金沢総合はこのピリオドで⑤遠藤が3回目のファウルをしまい、ベンチに下がる。22-15と山村学園のリードで第1P終了。 第2P, 両チームとも前のピリオドと似た展開となり、与えられたフリースローを確実に決めていく。山村学園は第1P同様バスケットカウントを決め、40-25と点差が広がったところで金沢総合がタイムアウトをとり、流れを断ち切る。その直後、⑬吉成が3pシュートを3本決めて点差を詰め、流れを引き込んだかに思われたが、④荒木も3回目のファウルをしまい、交代を余儀なくされてしまう。48-37と点差が広がった形で前半終了。 第3P, ディフェンスは両チームとも前半と変更なくハーフコートマンツーマンで後半スタート。金沢総合は⑬吉成の3pシュートを中心に点差を詰めていく。一方、山村学園は開始2分でチームファウルが貯まってしまい苦しいスタートとなった。その後も続けてバスマスをしてしまい、自ら攻撃の歯車を狂わせてしまう。金沢総合はその隙を見逃さず、⑦稲井の3連続得点で、逆転に成功する。その後は両チームとも一進一退の攻防となり、62-67と金沢総合が僅かにリードして第3P終了。 第4P, 早く追いつきたい山村学園は④増岡、⑤上原のドライブインで連続得点をし、点差を1点とする。しかし、金沢総合も⑤遠藤の得点で簡単に逆転を許さない。開始から5分、山村学園が④増岡の得点で再び逆転しリードすると、⑭内田がスティールからワンマン速攻で点差を3点に広げる。金沢総合は残り18秒、タイムアウト後のスローインから⑧星澤がインサイドで素早く得点し、点差を詰め寄るも山村学園からボールを奪うことができず、80-79と僅差を守りきった山村学園が勝利した。	